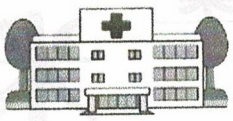

なぜ「何が何でも突き進む」のか？

問題積み残しスケジュール先行

市民も議会もないがしろ？！

キセラ川西センター

400床（一般377、高度治療室20、脳卒中集中治療室3）28診療科、12センター、医師80～90名、看護士400名
医療技術者100名。 基本午前診療（紹介状患者が多ければ午後診もあるかも・・・）
紹介状がなければ初診時選定療養費5000円（税抜き）必要（現在2000円）。全室個室＝3割有料4000円(税抜き)
無料7割。駐車場＝患者・家族用なし、サービス用10台、身体障碍者用3台、救急車用3台、患者搬送用車両車庫1台

市立病院整備調査特別委員会が2月14日開かれ、市から「川西市立総合医療センターキセラ川西センター整備基本計画書（案）」の説明がありました。この間のパブコメや議会での意見が反映されない、問題の多い計画書（案）です。

キセラ新病院の計画

たんぽぽだより197号で、1月10日開催の「病院改革に対する市長方針及び川西市立総合医療センター基本構想（案）に係る市民意見及び市議会意見に対する検討結果について」の議員協議会の報告をしました。市北部から救急搬送でき、入院・手術ができる唯一の病院をなくし、診療所だけにする「構想」は到底、納得できるものではありません。

「議会議決必要」で募集

今後、3月議会で、キセラ川西センター建設に係るこの計画書（案）や建設費用の予算審査など、ひとつひとつ審議を重ねていく予定ですが・・・。

市は、2月7日公示、19日申し込み締め切りで、事前に意見を聞くマーケットサウンディング希望の事業者を募集。

3月上旬にも事業者を決め、2022・平成34年6月末工事完了に突き進む構えです。※議会からの反発を予想してか、「議会の関連予算の議決を経て決定するもので、事業実施が確定されたものではない」と注釈付きの募集です。

延べ50人で検討・・・

計画書（案）はどのような検討を経て、市民や議会の意見はどう反映されたのでしょうか。

計画書（案）は、市と協和会（協立病院）の担当者による延べ50名のワーキンググループ（WG）で約25回、昨年7月から10月まで検討、コンサルタントも入って決めたといいます。

感染要望対策は？

病院として一番大切にしなければならない「感染予防対策」はどうか。感染性廃棄物置場や汚物処理室などの手洗いが自動ではなくレバー方式。無料個室にトイレがないため、4～6部屋に一つのトイレを使用します。感染予防になりません。

外来患者は、診察室を共有するフリーアドレス。病棟フロアに約60㎡（約18畳）のリハビリテーション室を設置。40～43個室を1病棟にする計画ですが、目が行き届くのでしょうか。

「個室にトイレを」無視

WGでは、感染予防からも「無料個室にトイレが必要」の意見が出たようですが、「スペースが

新生児スタッフ不在？！

「新生児室はスタッフ不在時の対応として、セキュリティ管理できるようにする。」（計画（案）文章のまま記載）市のHP掲載中。

新生児室でスタッフを不在にするのでしょうか。

緩和ケア病棟なし

朝食は、加熱調理後90分以内に急速冷却、提供時に再加熱するクックチル。緩和ケア病棟も人間ドックもありません。

駐車場確保できねば？

駐車場は患者・家族向けなし。キセラ内に今年大規模商業施設が開店しますが、それを待って、相互利用の可能性を追求するとしています。無理だったらどうするのか・・・危うい話です。

「検討します」の逃げ

私（黒田）は、「議会で出た意見に基づき修正するのか」「『検討します』がその場限りの回答であってはならない」と強調しました。巨額をかけたキセラプラザ（福祉拠点）のバリアフリー化など関係団体・個人、議会の意見を聞く・検討するとしながら、ひどい施設になってしまっている、これを教訓にすべき点も指摘しました。

しかし、市は14日の特別委員会翌日、計画書（案）を作り変えることなく、市のホームページに掲載。「なお、掲載の資料は現時点での案であり、確定したものではありません。」と注釈を入れているものの、※実施要領には、「（仮称）川西市立総合医療センターキセラ川西センター整備基本計画」等については～2月15日に掲示と記載。

いかに、市民や議会がないがしろにされ、市・自分たちの突き進みたいスケジュールで突き進もうとしているのかが伺えます。

禍根を残さないために

市が基本理念に掲げる「安心・信頼できる病院」をめざすなら、スケジュールありきの猛進をやめ、将来に禍根を残すことがないよう、丁寧にじっくり検討、進めるべきです。

引き続き、情報提供していきます。